

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 15 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称 地域整備課 課長 古川 文雄
施策	16	まちなみの整備	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
	①町民 ②町内全域	①調和のとれたまちなみの形成に向けた取り組みを積極的に行う。 ②調和のとれたまちなみが整備される。		1	まちなみ形成活動の推進	町民	調和の取れたまちなみの形成に向けた取り組みを積極的に行う。
				2	適正な土地利用の推進	町内全域	土地利用や開発が適正に規制・誘導される。
				3			
				4			
				5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	調和のとれたまちなみの形成へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合	%	実績値 目標値	57.2 58.0	58.9 58.0	60.3 59.0	58.3 60.0	56.3 60.0	55.4 60.0
B	締結された景観協定の数 指定された景観形成地区の数	箇所	実績値 目標値	6 / 2 6 / 2	7 / 2 7 / 2	7 / 2 7 / 2	7 / 2 8 / 2			
C	都市計画税課税区域で宅地等として利用されている面積の割合	%	実績値 目標値	79.8 79.8	79.9 79.8	79.8 79.8	79.9 79.9	80.2 79.9	80.5 80.0	80.9 80.0
D			実績値 目標値							
E			実績値 目標値							
F			実績値 目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 町民アンケートにより把握 ※あなたは日頃、美しい景観の保全・形成へ向けた取り組みを行っていますか。→「特に行っていない」と回答しなかった人の割合</p> <p>B) 数が増加すれば、地域の景観形成への取り組みが活発になると考えられるため成果指標とした。 主管課で実数を把握 ※地域とは、行政区または集落とする。</p> <p>C) 都市計画税課税区域の土地利用について、宅地等として利用されている状態と考慮し成果指標とした。 固定資産の価格等の概要調査&gt;第53表 地積及び床面積等に関する調(法定免税点以上のもの)による ※土地の地積(宅地等小計)/土地の地積計</p>
目標値設定の考え方	<p>A) 高齢であるほど景観づくりに取り組む傾向にあるが、ライフスタイルの多様化により、成り行きでは今後高齢者となる人々で景観づくりに取り組む人は減少すると考える。まちなみ環境整備に取り組んでおり、この取り組みを定着させることで今後数年間、割合を徐々に伸ばす。平成26年度以降は横ばい。</p> <p>B) 平成27年度で1地区、平成29年度で1地区景観協定の締結を目指す。</p> <p>C) 短期的には、変化がないと判断し、平成29年度まで79.8%で推移。長期的な視点で上昇させるべき数値であり、短期的に大幅に上昇させることは困難であることから、2年に0.1%程度上昇させ、平成29年度には80%をめざす。</p>

施策のための役割・目標達成	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <p>①花苗の植え付けなど、身近な景観づくりに地域ぐるみで積極的に取り組む。</p> <p>②建物などを建てる際に、調和の取れた景観形成に配慮する。景観形成地区、協定地区の住民は景観協定を守る。</p> <p>③都市計画、開発等に関する各種規制を遵守する。</p>	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <p>①まちなみの整備に関し必要な調査を行うとともに、基本的かつ総合的な計画を策定する。</p> <p>②景観形成について、町民の理解を深めるとともに、地域の取り組みを支援する。</p> <p>③一定規模を超える開発について監視・指導・助言を行う。</p>
---------------	---	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <p>①対象となる町民は、少子高齢化、過疎化が進み。その結果、空き家が増加し、まちなみ形成に取り組む人数が減少する。</p> <p>②『空家等対策の推進に関する特別措置法』が施行されたことから、景観の悪い空家の除去等の要望が増えていく。</p> <p>③景観行政団体に移行し、景観計画の策定・景観条例の制定が行われることにより、町・事業者・住民の責務が生じる。</p> <p>④景観法以外の法律等によってもまちなみ形成に関する規制が行われていく。</p>	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <p>以下のとおり町民アンケートの自由記述欄に意見が寄せられている。</p> <p>①矢瀬親水公園は遠くからでも見えるようもみじ等をいっぱい植えて皆が行きたくなるような公園にしたい。</p> <p>②もっと空き店舗に力を入れてほしい。</p> <p>③住んでいなくて放置された状態の民家や建物が多いように感じる。</p> <p>④町中が暗くて淋しいので飲食店をやりたい方に安く空き家を貸したりする。</p> <p>⑤廃屋があちこちに見られるが、防災・防犯の心配があるので、行政で指導監督してもらいたい。</p>
-----------	---	--

施策	16	まちなみの整備	主管課	名称	地域整備課
				課長	古川 文雄

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	①時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①美しい景観の保全・形成へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合は、平成28年度55.4%から平成29年度57.4%と2.0ポイント上昇した。具体的には、「地域や家庭で花や緑を増やす」が43.8%と最も高く、「公園や道路の清掃活動に参加する」が24.0%と続く。年齢別では、20歳代が22.7%、60歳代が67.8%となるなど極端な差がみられ、高齢になるほど高い割合となる傾向にある。</p> <p>②地区別にみると、「地域や家庭で花や緑を増やす」は新治地区が45.8%と最も高く、「公園や道路の清掃活動に参加する」が27.3%で水上地区が高くなり、「建物の屋根や壁の色・形などを周囲の景観に調和させる」が9.1%と、新治地区が最も高い結果となった。</p> <p>③締結された景観協定の数、指定された景観形成地区の数は前年度と同数であった。</p> <p>④都市計画税課税区域で宅地等として利用されている面積の割合は、80.9%と0.4ポイント上昇した。微増ではあるが、宅地利用率が上昇した。</p>
		②他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。
	③目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>①調和のとれたまちなみの形成に向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合は、目標60.0%に対して57.4%となっており、目標を下回っている。</p> <p>②景観形成地区、景観協定の数は、景観形成地区は目標どおりであるが、景観協定の数は1地区下回っている。</p> <p>③都市計画税課税区域で宅地等として利用されている面積の割合は、目標80.0%に対し実績値80.9%となっており、目標を上回った。</p>
成果実績に対する総括	<p>①国土調査事業では、平成29年度に相俣Ⅱ地区の一部0.85km<sup>2</sup>の現地調査を実施した。みなかみ町全体の進捗率48.7%となった。</p> <p>②開発指導事務事業において、開発指導要綱に基づく開発協議に入るための事前構想6件、事前協議2件の提出があり、適正な開発行為を指導・助言した。</p> <p>③街なみ環境整備事業で、平成22年度に湯原温泉地区、平成23年度に水上駅周辺地区、平成27年度に湯宿温泉地区が協定を締結している。平成29年度では、水上駅周辺地区の消防詰所の修景を実施した。</p> <p>④景観計画の策定で、景観形成地区2地区と景観協定地区7地区を、景観形成重点地区として位置づけるため、景観審議会に諮ったが、景観協定地区1地区だけの参加となった。</p>		

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)	
	1	まちなみ形成活動の推進	<p>①景観形成に対する個々の意識の向上が必要である。</p> <p>②空き家が増加し、放置されることにより景観が損なわれている。</p> <p>③景観条例の届出対象となる建築状況の把握が必要となる。</p>	<p>①策定された景観計画の内容を周知する。</p> <p>②街なみ環境整備事業を推進する。</p> <p>③平成30年度に策定した空き家解体補助制度を活用し、空き家対策を推進する。</p> <p>④景観条例の届出義務を遵守させるため、県に提出された建築工事届により建築状況を把握し、必要に応じて指導を行う。</p>
	2	適正な土地利用の推進	<p>①都市計画区域内の二項道路の後退用地部分を法律どおり道路用地とし適正な土地利用を図る必要がある。</p> <p>②都市計画マスタープランに基づいて、用途地域の変更や特定用途制限地域の指定を行う。</p>	<p>①都市計画区域内の土地所有者に対して建築基準法の二項道路について理解できるよう情報発信する。</p> <p>②用途地域の見直しのため、県との協議後用途地域設定の調査を実施する。</p>
	3			
4				

## 16 まちなみの整備

平成 29 年 月 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	景観審議会運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	130,512 円					
施策体系	施策	16	まちなみの整備			審議会は、条例の規定により定められた事項を調査審議するほか、町長の諮問に応じ景観形成に関する事項を調査審議する。		事業実績						
	基本事業	01	まちなみ形成活動の推進					景観審議会開催数						
根拠	無	組織	地域整備	課	課長	古川 文雄	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	H 29 ~	年間	会計	1	款	8	項	4	目	5	課題なし	平成28年度	平成29年度	単位
												-	3	件

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	水上地区街なみ環境整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,321,210 円							
施策体系	施策	16	まちなみの整備			住環境の整備改善を必要とする区域において住宅、地区施設等の整備改善を行うことにより地区住民の発意と創意を尊重したゆとりとうるおいのある住宅市街地の形成を図るための事業であり、水上地区における湯原温泉地区では、「おもてなしの気持ちで手入れされた情緒のある街なみ環境づくり」を目指し、小さなお休みどころやお庭づくり、ふれあい通りの賑わいの演出、路地空間の観光資源化・魅力化などを進めていきます。	県から地区の中に狭い範囲の重点地区を設定し事業実施してくださいとの指導があるため、重点地区を設定する。	事業実績								
	基本事業	01	まちなみ形成活動の推進					修景助成相談件数								
根拠	有	組織	地域整備	課	課長	古川 文雄	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策								
事業期間	継続事業	H ~	年間	会計	1	款	8	項	4	目	2	県からの指導内容と地元協議会が進みたい方向に差があり、修景整備の実施が進まなくなっている。	重点地区を中心に整備を図って行きたい。	平成28年度	平成29年度	単位
												4	1	件		

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	湯宿地区街なみ環境整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	91,552 円							
施策体系	施策	16	まちなみの整備			湯宿温泉地区(景観に配慮したまちなみ協定のある地区)において、住民の発意と創意を尊重したゆとりとうるおいのある住宅市街地にするため協議会運営、環境整備工事、補助金交付事業、委託契約事務などを行う。	他の事業計画を進め、地元の意識の高揚を図る。	事業実績								
	基本事業	01	まちなみ形成活動の推進					修景助成相談件数								
根拠	有	組織	地域整備	課	課長	古川 文雄	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策								
事業期間	継続事業	H ~	年間	会計	1	款	8	項	4	目	2	補助金交付事業の申込者がいない。	温泉街ゾーンの修景整備を完成に向けて進める。道路美舗装・駐車場の整備を行い、地元意識の高揚をはかる。	平成28年度	平成29年度	単位
												2	1	件		

平成 29 年 8 月 3 日作成 (平成 30 年 7 月 4 日更新)

事務事業	000004	みなかみお花畑管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	406,180 円							
施策体系	施策	16	まちなみの整備			地域住民、企業等が実施団体となり、町及び道路管理者が協力して国道17号線月夜野バイパス沿いに花の植栽及び管理地の清掃、除草等の活動を行う事業。H29から水上地区花苗植付け事業と事務事業統合	広報による団体の募集 多年草の使用を検討	事業実績								
	基本事業	01	まちなみ形成活動の推進					植栽花苗数								
根拠	無	組織	観光商工	課	課長	澤浦 厚子	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策								
事業期間	継続事業	H ~	年間	会計	1	款	7	項	2	目	1	・多年草の植栽を行い、参加団体は毎年除草作業のみの管理とする方法も考えられる。 ・参加団体が減少に伴い、広報等を利用して参加団体を募集しているが新規獲得が困難である。	空き区画への多年草植栽にて小さい負担で運用していく	平成28年度	平成29年度	単位
												1,368	1,368	本		





